



































チャレンジ項目記入数

13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		経営理念を明文化し社内ホームページで公開するとともに、経営者は社員へ説明の機会を設けている								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令順守の取組や規定類を社内ホームページで公開するとともに、コンプライアンスに関する委員会を設置し責任を明確にして取り組んでいる																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		コンプライアンス推進責任者は、行動指針に基づき、社員に対する不正競争防止に関するコンプライアンスに関する周知・教育の計画・実践について、社員向け講演会等で展開している										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		セキュリティ保護・環境維持推進に向けて、熊本支店長を責任者とした体制を熊本支店内に確立し、本社経営企画部に設置している管理責任者と連携した活動を実行している																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産保護に関する情報を社内ホームページにて社員に提供すると共に勉強会の開催による社員教育に取り組んでいる								8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護方針を定め社内ホームページで公開すると共に個人情報保護体制を確立しプライバシーマークに準拠したマネジメントシステムを運用している																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		お客様が望まれるシステム実現に向けて、工程の区切りごとに責任者間でのミーティングを確実に実施し、現状の課題及び想定されるリスクの共有を図ることで齟齬のないもの作りを進めている																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		パートナーに向けてコンプライアンス規定により法令、社会的規範および社内規範等を遵守について、定期ミーティングにおいて周知を徹底することで不正・不祥事の予防に取り組んでいる					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		熊本地震の経験を踏まえ、年1回の避難訓練を行うとともにBCPを策定し、事業の継続を意識した災害対策訓練を実施している									9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		ソリューションビジネスの拡大、既存のストックビジネスの維持拡大、社員の成長を図るとともに新卒中途採用 また技術補完や人材育成を目的としたSYSKENグループ内人員交流により事業承継の対策をとっている								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		社員就業規則にハラスメントの禁止に関する事項を定めると共に、差別やハラスメントに関する研修を実施し相談窓口を設置している				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		社員就業規則に安全衛生に関する管理者、推進員を定めて職場の点検、整備、安全に関する教育訓練を行っている			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員の雇用形態(正社員・契約社員)に関わらず同一労働同一賃金等の原則に沿って公正な待遇を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		ワークライフバランス推進の重要性について、社員啓発活動を行うと共に、社員の月間時間外状況を把握し、過重労働や特定人員への偏り防止に向けて必要に応じて適切な対応を行っている			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		事業所内能力開発推進計画を定め、社員のキャリア形成に即した能力開発・教育訓練の機会を提供している				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		社員就業規則に年に1回の健康診断受診を定め、特に必要がある場合は就業の一定期間緩和等の健康保持に必要な措置をとっている ストレスチェックを行い、社員の健康安全を優先としている			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		性別、人種等による待遇、昇進・昇格等に差別がない規則、運営を行っている 女性が活躍できる職場づくり、障がい者雇用、定年退職者再雇用の取組みを行っている				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	在宅勤務規程を制定し自宅でテレワークを推進するとともに、時差通勤、ウェブ会議による外部との接触機会削減を進めている 会社受付前に自動体温チェッカーを導入し、事前の体温計測により、接触機会を削減している			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	AIを活用して業務プロセスの改善を通じて、業務遂行を支援し、DXの推進に貢献している								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●	プライト企業の認定を受けている			3	4					8	9			12					


















チャレンジ項目記入数

13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		法令に遵守し適切な廃棄物処理を実現している			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		事務所の照明をLED化すると共に、未使用時の消灯を積極的推進している 社用車の給油量を元に、エネルギー使用量を県提供の簡易計算シートで把握しており、社員に向けてエコ運転を推進すると共に、省エネルギー目的で支店社用車にハイブリッドを導入している							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		温室効果ガス排出量を県提供の簡易計算シートで把握し、社用車の温室効果ガス排出削減を目的に無用なアイドリング運転を禁止している		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業所近隣の清掃活動を定期的に行い環境保全に取り組んでいる						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		大型ディスプレイを活用しペーパーレス会議を推進している									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		トイレの蛇口を自動停止装置を設置し節水に取り組んでいる		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		グリーン購入法の第6条に基づく基本方針に定められた品目及びその判断基準に合致したリサイクル用紙を使用している									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2					6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	リフレッシュコーナーに植栽を置き緑の創出、管理に取り組んでいる												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	事業所内の照明にLEDを導入している 省エネ対策と職場環境を快適にすることを目的にエアコン用のハイブリッドファンを導入している								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	給茶機を設置しペットボトルゴミの削減を行っている													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	通勤手当支給規則の中で原則として公共交通機関の利用を定め環境に配慮した交通手段を推奨している										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

チャレンジ項目記入数

13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		各案件の進捗、品質を「TimeTracker」システムを活用したプロジェクトリーダ会議で相互確認を図り、未然に出荷品質確保に取り組んでいる 製品、サービス提供時に想定されるリスクの洗い出しと対策についてプロジェクトリーダ会議で議論し解決に取り組んでいる 「BRAMS」システムを用い各試験レベル毎の不具合管理、発生分析や指標による品質チェックに取り組んでいる			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		事務所はフルフラット、ユニバーサルデザインエレベータを導入し、障がい者、高齢者にも使える多目的トイレや優先駐車場も完備している									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		近隣企業とともに花壇を整備し、「花いっぱい運動」を行っている NTTグループと共に職場周辺の清掃活動を行っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		年1回の避難及び消防訓練を実施している 災害対応、防火体制を構築し事務所に体制図等を掲示している 業務の継続を可能にするための体制、環境の構築を図るため災害対策訓練も行っている				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	社内においてポスター掲示や勉強会の開催を通じて、推進体制を整備し、SDGsに関する普及啓発活動を展開している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	IT系技術学校を中心にインターンシップの受入れを積極的に実施している				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	県立技術短期大学校から推薦入社を継続して行っている				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17